【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2002-239145(P2002-239145A)
【公開日】平成14年8月27日(2002.8.27)
【出願番号】特願2001-38156(P2001-38156)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
　Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月11日(2004.8.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の始動条件の成立に基づいて、表示装置の変動表示領域に識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行い、この結果態様に関連して特定の遊技価値を付与可能な遊技機において、
前記始動条件の成立回数を累積的に記憶して、変動表示ゲームの実行毎にその記憶数を減数する条件成立数記憶手段と、
前記条件成立数記憶手段の記憶数を報知する記憶数報知手段と、
前記条件成立数記憶手段の記憶数に基づき変動表示ゲームの変動表示時間を短縮状態に制御可能な変動表示時間短縮制御手段と、
を備え、
前記変動表示時間短縮制御手段は、
変動時間の異なる複数の変動表示態様がそれぞれ登録された複数の変動表示態様選択グループを備え、
該複数の変動表示態様選択グループは、登録された複数の変動表示態様の平均変動時間が各変動表示態様選択グループ毎に異なるように構成される一方、同一の変動表示態様を複数の変動表示態様選択グループに重複させて登録することが許容され、
前記条件成立数記憶手段の記憶数に基づいて前記変動表示態様選択グループの何れかを選択し、該選択された変動表示態様選択グループから所定の選択確率にて変動表示態様を選択することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
停電時の変動表示ゲーム情報をバックアップ可能に構成され、
前記変動表示時間短縮制御手段は、停電から復帰したことを条件に、バックアップされた変動表示ゲーム情報に基づく変動表示ゲームの変動表示時間を短縮状態に制御することを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記変動表示時間短縮制御手段による変動表示時間の短縮状態においては、複数の変動表示領域における各々の識別情報が同じタイミングで変動開始し、且つ、停止する変動表示態様で変動表示ゲームが行われることを特徴とする請求項１または２に記載の遊技機。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
【課題を解決するための手段】
第１の発明は、所定の始動条件の成立に基づいて、表示装置の変動表示領域に識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行い、この結果態様に関連して特定の遊技価値を付与可能な遊技機において、前記始動条件の成立回数を累積的に記憶して、変動表示ゲームの実行毎にその記憶数を減数する条件成立数記憶手段と、前記条件成立数記憶手段の記憶数を報知する記憶数報知手段と、前記条件成立数記憶手段の記憶数に基づき変動表示ゲームの変動表示時間を短縮状態に制御可能な変動表示時間短縮制御手段と、を備え、前記変動表示時間短縮制御手段は、変動時間の異なる複数の変動表示態様がそれぞれ登録された複数の変動表示態様選択グループを備え、該複数の変動表示態様選択グループは、登録された複数の変動表示態様の平均変動時間が各変動表示態様選択グループ毎に異なるように構成される一方、同一の変動表示態様を複数の変動表示態様選択グループに重複させて登録することが許容され、前記条件成立数記憶手段の記憶数に基づいて前記変動表示態様選択グループの何れかを選択し、該選択された変動表示態様選択グループから所定の選択確率にて変動表示態様を選択する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
第２の発明は、第１の発明において、停電時の変動表示ゲーム情報をバックアップ可能に構成され、前記変動表示時間短縮制御手段は、停電から復帰したことを条件に、バックアップされた変動表示ゲーム情報に基づく変動表示ゲームの変動表示時間を短縮状態に制御する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
第３の発明は、第１、第２の発明において、前記変動表示時間短縮制御手段による変動表示時間の短縮状態においては、複数の変動表示領域における各々の識別情報が同じタイミングで変動開始し、且つ、停止する変動表示態様で変動表示ゲームが行われる。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
【発明の効果】
第１の発明では、条件成立数記憶手段の記憶数に関連して、変動表示ゲームの変動表示時間を短縮状態に制御することで、条件成立数記憶手段の記憶数が溜まった場合、変動表示ゲームを速やかに進行することができ、その消化にそれほど時間を費やすことはない。したがって、条件成立数記憶手段の記憶数の上限を大きくした場合に、大当たり（特定の遊技価値）遊技の終了時を含む遊技の止め際等に、溜まっていた条件成立数記憶手段の記憶数の消化のため、長い間遊技者を待たせて迷惑をかけるといったことを回避でき、また条件成立数記憶手段の記憶数の上限を大きくして、変動表示ゲームの機会および大当たりの発生の機会を増やして、遊技の興趣を十分に向上することができる。
また、変動表示時間短縮制御手段は、変動時間の異なる複数の変動表示態様がそれぞれ

登録された複数の変動表示態様選択グループを備え、該複数の変動表示態様選択グループは、登録された複数の変動表示態様の平均変動時間が各変動表示態様選択グループ毎に異なるように構成される一方、同一の変動表示態様を複数の変動表示態様選択グループに重複させて登録することが許容され、条件成立数記憶手段の記憶数に基づいて前記変動表示態様選択グループの何れかを選択し、該選択された変動表示態様選択グループから所定の選択確率にて変動表示態様を選択するので、変動表示時間を選択する際の処理の負担を軽減できる。また、通常時においても変動時間の短い変動パターンをとりうるし、また変動時間短縮時に変動時間の長い変動パターンもとりうる。そのため、時間短縮状態においても制限された変動パターンのみになるという問題を解決し、興趣溢れる変動表示ゲームを行うことができる。

【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
第２の発明では、停電前の記憶について速やかな消化を行え、したがって遊技者は新たな気分で遊技に入ることができる。

【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００４３】
第３の発明では、速やかな変動停止または仮停止を行え、変動表示を冗長にさせずに変動表示時間を効果的に短縮できる。
【手続補正３７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】削除
【補正の内容】